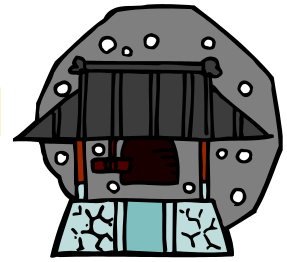




学校だより かけ橋

横須賀市立汐入小学校 校長室

2011. 12. 21
No. 21



作品展

作品展は、個人面談の期間に合わせて、毎年この時期に行われています。低学年らしいのびのびとした表現、高学年らしい細かいところまで良く見て描いた緻密な表現等々、各教室の作品を見て歩くと、気づくことがあります。

作品の結果だけでなく、その作品に込められたその子の思いを考えたり、作成途中の様々な関わりを想像したりしながら見ると、どの作品もとても大切に思えます。子ども自身が書いたコメントがあると、わかりやすいのですが、コメントが無くても、想像することが楽しいものです。

「図工の指導がうまい教員は、ほめ上手」だという話を聞いたことがあります。今回見た我が子の作品について、苦労したり工夫したりしたところを聞いて、良さをほめてあげて欲しいと思います。

図工では、うまいへたではなく、自分の作品にどれだけ思い入れをして、どれだけ愛着が持てるかが大切だと考えています。そんな心が、子どもたちに芽生えるように、言葉がけをお願いします。



牛乳工場見学

給食の牛乳は、どこで作られているか知っていますか？毎日のように飲んでいるのですが、あらためて聞かれると、「??？」がたくさん浮かびます。

牛乳パックには、「キョウドウ ミナミルク牛乳」と書かれていて、スカリン（横須賀市のキャラクター）とカエルのようなイラストが描かれています。横を見ると、「製造所所在地 横須賀市森崎・・・」と工場の住所が書かれています。給食の牛乳は、協同牛乳という会社の森崎にある工場で作られています。

以前、荻野にある関口牧場で、乳搾り体験をした3年生が、その後、どのようにして給食の牛乳になるのか確かめようと、工場見学に行くことになりました。人数が多いと見学を受け付けられないという事でしたが、汐入小学校の規模なら大丈夫ということで見学できることになりました。



京浜急行に乗り、北久里浜駅から歩いて15分。パッキングセンターの隣に、その工場がありました。会議室で、工場長さんが説明してくれました。その後の子どもたちの質問にもていねいに答えてくれました。

3年生にとって、内容的に多少難しい部分がありましたが、工場長さんの製品を大切に思う気持ちは、感じ取ってくれたようです。

本校では、教室で教科書を使った授業だけでなく、今回のような校外学習も取り入れています。実際の現場で見学すること、それをまとめて他の人に伝えること、現場で苦労したり工夫したりしている人たちの気持ちを感じること、・・・等々。教科書では、伝えきれないものを伝えていきたいという教員の思いです。

見学してきたことは、新聞などの形にまとめています。見てきて終わりにしないことも大切なことです。ご家庭でも、お子さんの作品をもとに見学してきたことを聞いてあげてください。

学校からの発信

学校では、子どもたちの様々な活動を発信したいと考えています。学校日より、学級日より等の紙ベースでの発信の他に、汐入小学校のホームページには、「汐入小 日記」というコーナーがあり、毎日のように更新されています。写真を掲載するにあたっては、個人の顔が識別できないように加工するなど、担当者の隠れた苦労があります。

また、学校の玄関には、学校行事の際の子どもたちの活動の様子が、掲示してあります。「ホームページには載せられないが、学校での子どもたちのいきいきとした表情を伝えたい。」という担当者の思いがあります。

学校からの発信に、ご意見・ご感想をお寄せください。発信している者の励みになります。

ある新聞に、「親子で大掃除」という記事が出ていました。「家事ができることは、自分のことが自分でできること。さらに、家族の役に立っていると感じることもできる」「子どもが出来たことを見つけて、ほめてください。認められることが自尊心や自信を育みます。」なかなか書いてある通りにはいきませんが、この冬休み、子どもたちにとって、家庭の大切さやありがたさを感じる機会にできたらと思います。